

平成19年度 決算報告

昨年度の各会計決算が監査委員の審査を経て、9月に開かれた第3回定例会で認定されました。その概要についてお知らせします。また、本市ホームページにも詳しい資料を掲載していますのでご覧ください。

なお、金額は1万円未満を整理しています。

問い合わせは 財政課 ☎898-6542



新しい体育館で部活動する生徒（七中）

決算概要

一般会計決算額の歳入歳出総額は歳入は1,243億5,737万円、歳出は1,220億7,357万円、差引額は23億5,002万円の黒字。これから20年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は21億4,487万円の黒字となり、このうち12億円を財政調整基金に積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、7億6,477万円の赤字となりました。

なお、市債残高（借入金残高）は、約13億円減の1,362億円余りとなり、4年間で約103億円の縮減を行うことができました。今後も市民が健康で生きがいを持ち、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、自主財源の確保や事務事業評価による総点検と行財政改革を推進し、一層の財政の健全化を図ります。

一般会計

主な財政改革として、歳入面では、市税の滞納額縮減や収納率の向上を図るために、財産差し押さえや動産公売などの強化、市税の

平成19年度各会計決算

一般会計・特別会計決算		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,243億5,737万円	1,220億7,357万円
国民健康保険	322億9,686万円	313億7,476万円
老人保健	272億5,560万円	270億2,443万円
競輪	260億4,108万円	252億4,010万円
農業集落排水事業	12億3,358万円	12億1,274万円
介護保険	168億98万円	162億1,442万円
簡易水道事業等	375万円	259万円
小計	1,036億3,185万円	1,010億6,904万円
合計	2,279億8,922万円	2,230億7,639万円

となり、3年連続の伸びに。4%となり、3年連続の伸びに。歳出面では、34人の職員削減、公共施設の指定管理者委託による管理経費縮減を図るなど、行財政改革の推進に努めました。

市税は、税源移譲や定率減税の廃止などにより増加となった一方、三位一体改革の影響があった地方交付税や廃止となった所得譲与税は、それぞれ大幅な減少となりました。なお、財政調整基金（貯金）の取り崩しは、32億円増の38億円

歳入

市税は、税源移譲や定率減税の廃止などにより増加となった一方、三位一体改革の影響があった地方交付税や廃止となった所得譲与税は、それぞれ大幅な減少となりました。なお、財政調整基金（貯金）の取り崩しは、32億円増の38億円

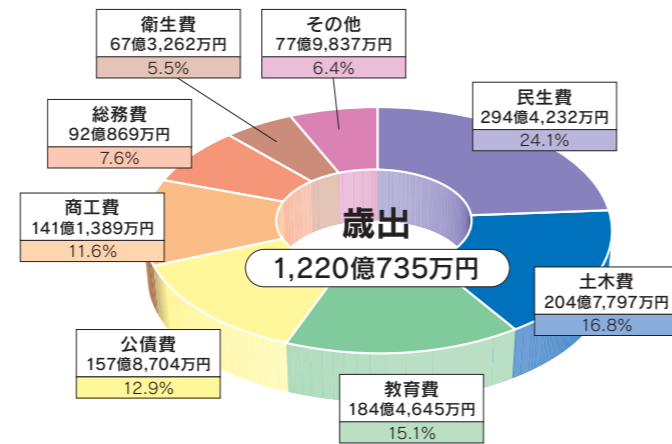
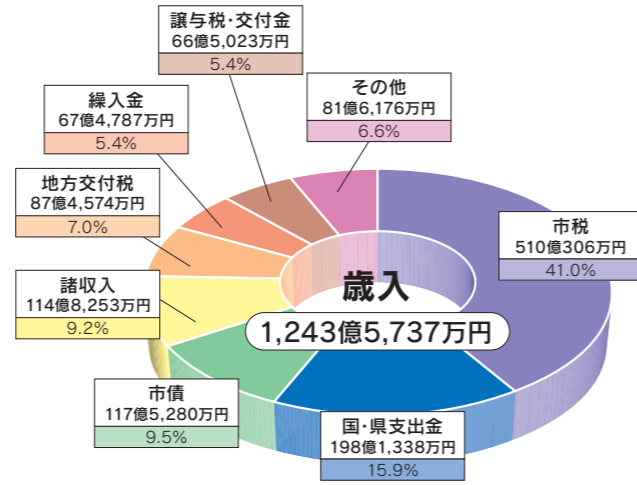
歳出

前橋プラザ元気21整備の土工費や、東小や七中、工科大を整備した教育費などが前年度より増加しました。一方で、東消防署宮城分署建設工事が完了した消防費や労働費などは減額に。なお、昨年度の主な施策・事業については、5ページ表のとおりです。

特別会計

国民健康保険 加入者の皆さんの健康を保持するため、適正な保険給付を行うと

一般会計歳入歳出の内訳



昨年度に実施した一般会計の主な施策・事業

①快適で暮らしやすい安全・安心なまちづくり	
前橋駅周辺の交通バリアフリーの推進	1億4,514万円
斎場整備	2億5,389万円
土地区画整理事業	62億7,002万円
市営住宅の整備	4億7,507万円
マイバス東地区の運行	3,000万円
自動体外式除細動器(AED)の市有施設への増設設備	2,123万円
前橋生鮮食料品総合卸売市場改修補助	9,700万円
②自然と共生する環境配慮型のまちづくり	
全国都市緑化ぐんまフェアの開催	15億3,823万円
有価物集団回収事業などによるリサイクル拡充	1億2,286万円
合併処理浄化槽設置補助事業	4,363万円
太陽光発電システム設置費補助事業	2,966万円
③健康福祉に配慮したまちづくり	
がん検診事業の充実	7億892万円
保育所・幼稚園に通う世帯への支援	4億8,334万円
保育所・児童館・児童クラブへの防犯カメラ設置	1,168万円
介護予防マネジメント相談・支援などの推進	1億3,327万円
地域密着型介護サービス施設整備の支援	5,500万円
障害者自立支援特別対策事業	6,150万円
④地域資源を活かした活力のあるまちづくり	
品目横断的経営安定対策	7,700万円
家畜飼料生産対策事業	515万円
企業誘致促進	1億2,128万円
中心市街地再生(前橋プラザ元気21整備)	36億9,175万円
熱血店舗開店支援(空洞化対策)	2,727万円
JR前橋駅観光物産案内所設置事業	2,278万円
「TONTONのまち前橋」普及宣伝	100万円
⑤豊かな心を育む教育・文化の充実したまちづくり	
中央公民館移転(前橋プラザ元気21へ)	18億7,748万円
こども図書館の整備	4億5,455万円
夏休み子ども支援事業	159万円
心の相談・ハートケア事業	183万円
小学校校舎・体育館などの改築	20億4,354万円
前橋工科大整備事業	13億5,515万円
前橋シティマラソン開催	1,320万円
⑥市民と協働するまちづくり	
地域づくり推進事業	335万円
市民活動支援センター移転(前橋プラザ元気21へ)	6,415万円
農地・水・農村環境保全(農村版地域づくり)	1,875万円
宮城支所建設事業	5,838万円
情報システム最適化推進事業	890万円
まえばし市民ネットワークシステム(まえりあ)の運営	184万円

ともに、人間ドックの補助などの保健事業を推進しました。

老人保健

高齢社会に対応し、高齢者の健康の保持を図るため、老人医療費の適正な支出に努めました。

競輪

寛仁親王牌などを開催するとともに、グリーンドーム前橋建設費の償還や維持管理を支援。また、継続的な経営改善に努め、一般会計へ昨年度の倍の2億円を繰り出しました。

農業集落排水事業

昨年度に引き続き、荒砥北部地

区や馬場地区の管路工事を行うとともに、普及率の向上、施設の適正な維持管理に努めました。

介護保険

介護などの必要な高齢者が能力に応じて自立した生活を送れるよう、サービス向上や事業の円滑な運営に努めました。

簡易水道事業等

苗ヶ島町の湯之沢小水道などの維持管理を行いました。

企業会計

水道事業

第六次拡張事業、既存施設整備事業などの施設改良事業を中心とした施設の整備・拡充と適正な維持管理に努めました。

下水道事業

生活環境の改善、河川の水質保全を図るために、下水道普及率の向上を目指し、施設の整備・拡充や適切な維持管理に努めました。

農業共済事業

農業災害補償法に基づき、農家の自主的な相互扶助を基本に、災害による農家の損害を補てんし、農業経営の安定と生産力の向上を図るため、各種共済事業に取り組